

ウェルフェア イズ ラヴ

2024年9月12日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

パリ・パラリンピックが閉幕しましたね。

日本のメダル獲得数は、金メダル14個、銀メダル10個、銅メダル17個の41個で、目標としていた53個には届きませんでした。金メダル数は前回の東京大会を上回りましたね。

日本時間の深夜帯のTV中継が多かったため、リアルタイムでの観戦はなかなか難しかったのですが、夕方や夜の早い時間帯に中継された、ブラインドサッカーや車いすテニスを観戦して楽しみました。

当事業所代表の個人的な感想としては、前回大会でメダルを獲得されたベテラン選手の方々がかなり苦戦されていたような印象を受け、一パラスポーツファンとしては「ちょっと複雑」な心境といったところでしょうか…。世界が強くなったのか、加齢や重度化による影響なのか。とは言いつつも、前回大会のように「複数種目でのメダル量産」とはいかずとも、意地を見せていずれかの種目ではしっかりとメダルを獲得されている点は、やはりさすがと感ぜます。

今回のパラリンピック自体は、「成功のうちに終わった」と言っても良いと思いますが、自国開催であった2021年の東京大会以降、スポンサーが減少している点や、練習等で一般のスポーツ施設を使用させてもらうことが難しいといった、永く変わらない（変わるべき）課題が遅々として進展しないことは、大きな課題と言えると思います。

スタッフのヒトリゴト

先日、当事業所代表の居住自治体から送られてきた集団検診案内の中に、「手足の力が弱い、寝返りがしにくい。方は、当日の間診等でお断りすることがあります。」という一文が添えられていた。当事業所代表自身に当てはまるかどうかは極めて微妙…。もう少し突っ込んで問い合わせてみようかとも思ったけれど、今回は受診を見合わせることにしました。「う～ん…。合理的配慮の視点が…。」と思っていたら、別の健診では車椅子利用者専用の枠を設けている健診もある…。合理的配慮や環境調整は、『一足飛びに』『完全に』を求めてしまうとなかなか難しい。「できることから、少しずつ。」も、大切なことですね☆

♡LOVE のラブラブな実践♡

先日、愛知県名古屋市でこども・若者支援活動されている、特定非営利活動法人 陽和様の勉強会「生きにくさを抱えた若者支援の現状」を、オンラインで聴講しました。

法人理事長の渋谷様がお話された、

- “支援=自立”ではなく、まず、“支援=安心”である必要があること。
- 発達障がいや、愛着障がい、境界知能等の専門用語に捉われるのではなく、「目の前のこどもや若者にとって、今必要なことは何か。」を考えることが大切。

というメッセージ、強く心にのこりました。

県内の福祉イベント案内 他♪

10月20日(日)に、公益社団法人 香川県社会福祉士会 様主催の、「2024年度 社会福祉士全国統一模擬試験」が開催されるとのことです。

詳細は、以下のリンク先よりご確認下さいませ。

[2024年度「社会福祉士全国統一模擬試験」の実施について - ホーム \(kagawacsw.com\)](https://kagawacsw.com)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎!!

来週号も乞うご期待♡